

## 基礎基本定着状況調査の結果について（お知らせ）

朝晩も涼しくなりだんだんと秋を感じる時節になりましたが、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育に対して、ご理解ご協力いただき、誠に有難うございます。

さて、今年度の5年生児童を対象として実施されました「基礎基本定着状況調査（国語・算数）」の結果をお知らせいたします。

### 《国語》

#### （1）結果及び課題

- ① 広島市の平均通過率を3.5ポイント上回っている。
- ② 「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の4領域全て平均通過率に達している。
- ③ 特に、「場面の移り変わりや情景の想像」について読み取る問題に課題がある。

#### （2）今後の取組

- ① 朝読書をさらに充実させたり、関心意欲を高める読書紹介をしたりすることで、これまで以上に読書活動を充実していく。
- ② 音読活動を継続して取り組んでいく。教科書の文章だけでなく、詩や俳句なども音読する活動を取り入れる。
- ③ 国語の時間だけでなく生活の中でも国語辞典を活用する習慣をつけ、国語辞典を使って調べる機会を増やすことによって、語彙を増やしていく。
- ④ 模範となる教材文の視写や文章の構成に着目した作文指導を行い、基本的な書き方のモデルを理解させたり正しい文章表現の意識づけを行ったりして、文章の構成を意識した作文を書かせる。
- ⑤ 日頃の日記や作文を書く時に、習った漢字はできるだけ使うように指導していく。

### 《算数》

#### （1）結果及び課題

- ① 広島市の平均通過率を2.0ポイント上回っている。
- ② 「量と測定」の領域では、広島市とほぼ同じ平均通過率であった。

③ 「分数の意味と表し方」「角の測定」「およその重さ」について考える問題に課題がある。

(2) 今後の取組

- ① 分数の学習において、単位分数をしっかりとらえさせるよう授業の中で継続して、単位量の考え方を意識づけ、定着を図っていく。
- ② 算数の授業の中で、単位の学習の際に生活に身近なものから量感や概念を育てたり、具体物・半具体物を使った操作活動を取り入れたりして、正しい量のとらえ方を意識づける。
- ③ 算数の授業の中で、ノートなどに自分の考えを書かせる活動を継続して取り組むことによって、自分の考え方を表現させる力を伸ばしていく。

以上の結果から、両教科とも広島市の平均通過率を上回っていることが分かります。このことは、国語科に限らず様々な学習場面で書くことを取り入れたり、算数科の学習場面で継続して、自分の考えを式だけでなく図・表・絵などで表す活動を取り入れ、これらの表し方を関連づける学習をしたりしてきたことの成果が出ているのではないかと考えます。

また、今年度の基礎基本学力定着状況調査における質問事項の中で、「国語の時間、相手が何を伝えたいのか話の中心を考えながら聞いています」「算数の授業では、自分の考え方や解き方を比べながら友だちや先生の話聞いています」といった項目のプラス回答率が広島県集計より高くなっています。これは、本校がこれまで取り組んできたコミュニケーション力の向上のために「相手意識を持って聞く・考える」という取組の成果だと思われます。

以上のことから、今後も成果の出ている取組を継続して行い、児童一人一人に確かな学力をつけていきたいと考えています。

昨年度より、本校では、算数科を研究教科として取り組んでいます。(3年計画の2年次)したがって、算数科におけるより効果的な指導方法についても研修を深め、全学年の児童の算数科の力を今以上に伸ばしていきたいと思えます。

今後も本校教育へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。